



WEST UNION

創造・参加・実践

No. 424



福岡地本ニュース

JR西労組福岡地方本部
福岡市博多区博多駅前 1-32-1
TEL 092-483-1148
発行責任者 米村 弘隆
編集責任者 松本 拓馬

第19回地本ゴルフ大会開催！

前日まで降水確率 80%も雨に降られず (^ ^) v

開催日：2022年10月17日 開催コース：JR内野カントリークラブ

JR西労組 福岡地本 第19回ゴルフ大会賞品該当者

順位	氏名	賞品
優勝	山口 茂 (運用センター)	商品券
準優勝	安藤 洋二 (台車センター)	商品券
3位	米村 弘隆 (運用センター)	商品券
5位	古江 祐一 (新幹線テクノス)	商品券
7位	江崎 秀行 (連合)	商品券
10位	武田 肇 (広島支所)	商品券
15位	松山 和喜 (博多新幹線列車区)	商品券
17位	下川 雄二 (構内運転)	スポーツバッグ
20位	水野 修身 (退職者協議会)	商品券
25位	小西 高広 (岡山支所)	商品券
30位	蘇 将之 (新幹線テクノス)	本格芋焼酎紫尾の露 (N700系プレミアムボトル)
35位	竹本 俊文 (退職者協議会)	本格芋焼酎紫尾の露 (N700系プレミアムボトル)
40位	加来 克典 (退職者協議会)	本格芋焼酎紫尾の露 (N700系プレミアムボトル)
45位	池内 嗣文 (岡山支所)	おっしょいラーメンセット
50位	住田 耀太 (広成建設)	おっしょいラーメンセット
55位	中山 啓一 (連合福岡筑紫朝倉地協)	本格芋焼酎紫尾の露 (N700系プレミアムボトル)
59位	中川 秀則 (博多新幹線列車区)	おっしょいラーメンセット
60位	渡邊 淳 (博多新幹線列車区)	ゴルフボール1ダース

福岡地方本部は10月17日(月)、JR内野カントリークラブにおいて第19回地本ゴルフ大会を開催しました。前日まで降水確率80%予報だったにも関わらず、雨に降られることなく無事開催することが出来ました。大会には組合員、退職者協議会、グループ労組の仲間として友誼団体の皆さんを含め60名の参加があり、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮しました。

ダブルベリア方式で競技を行った結果、栄えある優勝に輝いたのは運用センター分会の山口茂さんでした。おめでとうございます！

コロナを吹き飛ばせ！
ナイスショット！

No.4ニアピン (ボール1スリーブ)	山中 紹三 (構内運転)
No.8ニアピン (ボール1スリーブ)	山本 孝 (九州労働金庫)
No.11ニアピン (ボール1スリーブ)	佐伯 浩成 (運用センター)
No.16ニアピン (ボール1スリーブ)	林 雄二 (博多駅)
No.2ドラコン (ボール1スリーブ)	山下 直仁 (構内運転)
No.14ドラコン (ボール1スリーブ)	山口 茂 (運用センター)
ベスグロ (スポーツバッグ)	米村 弘隆 (運用センター)

2023年6月に開催予定の本部ゴルフ大会の福岡地本代表選手は組合員のグロス上位8名となりました。選手の皆様の健闘を祈ります。

最後になりましたが大いに開催にあたり賞品提供頂いた、九州労働金庫、連合福岡筑紫朝倉地域協議会、九州旅客鉄道労働組合、JR西日本新幹線テクノス労働組合、広成建設労働組合、西日本旅客鉄道労働組合中央本部、交通共済中国支所、交通共済九州事業部、JR内野カントリークラブの皆様にご感謝申し上げます。

- 行事予定**
- 11月1、2日(火、水) 本部との対話集会
 - 12月4日(日) 支部分会代表者会議
 - 12月9、10日(金、土) 第18回磯釣り大会
 - 12月11日(日) 階段駆け上がり予選
 - 1月15日(日) 新春の集い

順位	氏名	グロス	選手
1位	米村 弘隆 (運用センター)	75	辞退
2位	松山 和喜 (博多新幹線列車区)	81	○
3位	赤崎 修一 (運用センター)	83	○
4位	江崎 秀行 (連合)	88	○
5位	山下 直仁 (構内運転)	89	○
6位	貴島 輝男 (連合)	89	○
7位	山口 茂 (運用センター)	92	○
8位	佐伯 浩成 (運用センター)	92	○
9位	山中 紹三 (構内運転)	92	○

福岡地方本部は10月25日(火)、組合員の先頭を立てて冬季賞与の交渉にあたっては中央闘争委員会への激励行動を行った。

冒頭、米村委員長から全国旅行支援開始や水際対策緩和によりご利用は増加し、コロナが始まって以来これまでで、一番組合員の期待が高い冬季賞与交渉と感じている。コロナ禍で一時帰休やグループ外出向などこの間



組合員の期待を
中央闘争委員会へ

福岡地方本部は10月25日(火)、組合員の先頭を立てて冬季賞与の交渉にあたっては中央闘争委員会への激励行動を行った。

冒頭、米村委員長から全国旅行支援開始や水際対策緩和によりご利用は増加し、コロナが始まって以来これまでで、一番組合員の期待が高い冬季賞与交渉と感じている。コロナ禍で一時帰休やグループ外出向などこの間

その後、渡邊副委員長が現場で日々安全安定輸送に奮闘する組合員の熱い思いをぶつけた。